

県への再質問

【3】 UPZにおける安定ヨウ素剤の配布について

(再質問6) 「UPZ内は状況に応じて避難または一時移転の途中で…」となっていますが、屋内退避における放射線の低減効果は、規制委員会の評価によると、コンクリート造で 50%、木造では 25% ではありません。しかも屋内退避継続の判断は原子力災害対策指針によれば「実施後 3 日目を目安として判断…ブルームが長時間または継続的に到来し…被ばく低減効果が失われた懸念がある場合等には…避難への切り替えを判断…」とあるので説明にある「適切なタイミング」は失われ、「甲状腺への放射能ヨウ素の集積90%以上を防ぐ」ことはできなくなります。なので、UPZ地域住民、特に、妊産婦、幼児、子ども、40 歳未満の大人を対象に事前配布すべきと考えますが、いかがですか？